

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクアキッズみさと団地教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日		2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通して身体の成長発達を促すと共に、感覚統合の成熟がなされていく事で、落ち着きをもって行動できる子どもに育つ支援を行えること。	ボルダリングウォールが全身的な筋力や感覚を養うためにとても有用な為、必ず活動に取り入れるようにしている。	活動の効果を蓄積して行く事で、より良い療育につなげていく。
2	完全送迎を粉うことで、通園の手間や保育園や幼稚園に入園しているが為に療育を受けることが出来ないご家庭に、療育の場を提供することが出来る事。	必要だが通えないという悩みを抱えているご家族が、療育の選択肢を選ぶように、家庭環境や保育園、幼稚園の通園状況に応じた送迎体制を整える様心掛けている。	現状、引き受け可能数いっぱいまで利用希望を受け入れている。今後はニーズに答えていくためにも、新店舗を検討していく。
3	SNSによりいつでも相談できる体制を整えることで、保護者様が不安や心配事、分からないことなどを適宜相談することが出来る、安心して子育てに取り組むことが出来る様支援を行えること。	児発管が看護師資格を所持していることもあり、24時間とはいかずともいつでも、発達以外にも健康面でも相談に乗れるよう体制を整えている。	相談だけでなく、情報提供を目的にHPにて発達にかかわる知識を得られるコンテンツを計画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員数により、ニーズがあっても引き受けられない事が多くなっている。	一事業所では引き受け可能数が少なく、柔軟な対応が出来ない。	ニーズに答えていくためにも、新店舗を検討していく。
2	送迎者が非常に多いため、送迎時間が伸びてしまっている。	保育園・幼稚園・自宅など、様々な場所への送迎を受け入れている為、ルート選定が難しく、道路状況に影響を受けやすい。	ニーズに答えていくためにも、新店舗を検討していく。
3	現在の児発管以外では健康面での相談に乗ることが難しい。	障害児通所支援事業の従事者で、看護師の資格を所持している人材が少ない。	施設内外での研修や勉強会を企画、参加し、職員全員の知識の底上げを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アクアキッズみさと団地教室					公表日	令和 7年 3月 27日		
						利用児童数	令和 7年 3月 27日		
						回収数	22		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1			<ul style="list-style-type: none"> 運動部屋、机上の部屋と別れていて子供にもわかりやすいスペースづくりだと思います。 昼間子どもが多い日は、もう少し広い場所の方が、子どもも支援員の方も支援しやすいのではないかと思います。 ポルタリング等、工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数に応じて小集団で部屋を分ける、お散歩などの課外活動を行う、落ちついて行動することを課題とした活動を設定する等、スペースによるデメリットが生まれないように活動を考えていきます。 	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子を終日しっかりと見てくれる先生が必ずいる安心感があります。 子ども一人一人に目が行き届いていて適切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適切な人員配置をもって、支援を行っていきます。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20		1	1	<ul style="list-style-type: none"> 運動部屋、机上の部屋と別れていて子供にもわかりやすいスペースづくりだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが混乱や注意散漫になりづらく、集中して活動に取り組める環境を継続していきたいと思います。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				<ul style="list-style-type: none"> いつもきれいにしているなと思います。 工夫がされていて息子にはあっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓を心掛け、安心して過ごせる空間を維持していきます。 	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1	<ul style="list-style-type: none"> 机上活動が苦手なことを相談したら活動の中に組み込んでくれました。 療育センターでのハピビとはほぼ同じ内容で、継続的に支援が受けられていると実感しています。 子どもも楽しんで書かれています。 細かく記述されていて親でも理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が自分の力を十全に発揮でき、無理のない活動の中で成功体験が積めるよう、支援を行っていきます。 	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1	<ul style="list-style-type: none"> 初めにお話を聞いた通りだと思います。 公表内容を確認していない為分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすく、透明性をもって活動を行っていきます。 	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性を分かってくださっているなど感じる部分があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の興味関心、嗜好などを考慮した上で、発達段階や特性、課題に合わせて個別支援計画を作成しております。 	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 半年に一度、見学と面談をして、しっかりと話をしたうえで、計画して頂けるので、その時々々の支援に合っていると思います。 保護者としてそこまで深く理解できている自信がない為分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の興味関心、嗜好などを考慮した上で、発達段階や特性、課題に合わせて個別支援計画を作成しております。 	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				<ul style="list-style-type: none"> 通ってから、出来ることが増えました。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に則り、その子に合ったステップを設定し、無理なく成功体験が積めるよう支援を行っています。 	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 色々な活動を行っていただいているとは思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味関心を引き出す活動を中心としています。固定した活動を継続することが大切なこともございますので、柔軟に組み合わせで支援を行っております。 	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	4	7	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園のプレ保育に通っていたり、お友だちと遊ぶことがあります。 地域のハロウィンイベントに参加されていて、交流されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントへの参加実績がございます。 	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				<ul style="list-style-type: none"> きちんと説明して頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず重要事項説明書並びに利用契約書に基づいて説明を行っております。 	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				<ul style="list-style-type: none"> 書類と照らし合わせながら、お話ししてくださいました。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の実際を踏まえて支援計画を作成し、説明を行っております。 	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	3	9	<ul style="list-style-type: none"> 個別に、相談に乗っていただくことはあり、その時にアドバイスはして頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングにつきましては行っておりません。各家庭への個別相談にて家族支援を行っております。 	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21			1	<ul style="list-style-type: none"> 親と帰宅時と、様子について情報交換しています。 幼稚園からの通所の日、運動場に書いてあることでしか状況が分からないのは仕方のないことだと思います。 喘息がある等伝えるとき、適切に対応していただき助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の際や面談、SNS等を通じて、いつでも相談いただける体制を構築し、共通理解が持てる様務めております。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1	<ul style="list-style-type: none"> 半年に一度、面談と見学があります。 子どもに対してどう接するかわからない時いつもアドバイスをいただき助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の際や面談、SNS等を通じて、いつでも相談いただける体制を構築し、共通理解が持てる様務めております。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2			<ul style="list-style-type: none"> 私たちの悩みや思いにもしっかりと向き合ってくれる先生方です。 迎えの時の先生も明るく1日の話をしてくださり支援されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ともに子どもを支える大人として、尊厳と尊重をもって保護者の皆様と協力し、支援を行っております。 	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	10	8	<ul style="list-style-type: none"> そういった機会はありません。 保護者同士の交流は無くても良いと思います。送迎があるのとはとても助かっています。 あっても参加しないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流の機会につきましては希望が少なく、実施しておりません。要望がありましたら検討いたします。 		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20		1	1	<ul style="list-style-type: none"> 悩みなどを都度、聞いていただいてアドバイスを頂いたり、支援内容に組み込んでくれたりしています。 必要な時に相談に乗ってください、アドバイスをしていただき救われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の際や面談、SNS等を通じて、いつでも相談いただける体制を構築しております。 		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				・毎日の連絡帳の記入、送迎時の伝達と、情報の交換はしっかりとしています。	・送迎の際や面談、SNS等を通じて、いつでも相談いただける体制を構築しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	4	6	・連絡帳での活動内容は記入はありますが、HP、SNSなどではありません。	・広く発信する媒体での活動の開示は考えておりません。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1	・留意されていると思います。	・個人情報保護法並びに保護者様の同意に基づき、厳正に管理を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	1	7	・一度、防災訓練はあったようですが、ほかは分かりません。	・各種緊急時マニュアルを完備し、年に3回火災や地震、水害に対して避難訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1	13	・一度、防災訓練はあったようですが、ほかは分かりません。	・各種緊急時マニュアルを完備し、年に3回火災や地震、水害に対して避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	1	3	・入所時に、施設の状態等の説明がありました。	・必ず重要事項説明書並びに利用契約書に基づいて説明を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			1	・帰宅時に、このようなことがありましたので、このように対応しましたと説明して頂いたことがあります。 ・事案が発生したことがない為分かりません。	・SNSやTELにて、その時一番確実性のある方法を用いて、迅速に説明と対応するよう心掛けております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				・通うことが楽しく喜んでる姿が見られます。 ・幼稚園後利用の時、先生たちが迎えに来てくださりうれしいと本人が言っている。	・子ども達が安全で安心な環境で過ごせるよう、職員一同努めております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				・先生の車を見ただけで、楽しそうな顔をしています。 ・お友だちと遊ぶのを楽しみにしている。 ・先生が明るく迎えてくださり、親子で楽しく通っています。	・子ども達が笑顔で登園してくれることが、私ども何よりの願いでございます。これから子どもたちが興味関心をもって楽しく取り組める支援を心掛けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			・成長したことがたくさんあります。 ・とても満足しています！言語療育の再スタートを心から願っています。	・たくさん成長のお言葉を頂きありがとうございます。安心してお子さんを通わせられるよう、十全の支援を心掛けてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アクアキッズみさと団地教室				公表日	2025年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動に合わせた環境設定を適宜行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	保育士・看護師・児童指導員を必要充分数配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	生活動作自立や習慣の獲得に向けて、絵や文字、色などを使い、本人にわかりやすい環境設定をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日掃除、洗濯、室内消毒を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	感情が高ぶってしまった際に気持ちを落ち着けるための部屋を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	朝礼時の打ち合わせや振り返り、職員会議を通じて共通認識を高める他、支援の計画、評価、反省を随時行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		前年同様に頂いた意見を職員会議の中で十分に検討し、保護者の皆様の想いを元に子どもの発達に寄与できるよう、支援に反映させていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	風通しが良く、相談しやすい職場環境を作り、相談内容を必要に応じた形で業務改善に役立っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		行っていない。必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	内部、外部共に広く研修の機会を確保している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページやパンフレットに支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	職員一人一人が持っている子どもの情報を会議の場で確認し、全員が共通理解をもって支援計画を作成するようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	児童発達支援計画は作成から発行に至るまで、全職員にて共有し、支援に生かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	基本情報シートに基づいてアセスメントを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	各支援項目を網羅する形で支援内容を考慮し、設定するように心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	リーダーを中心として、週替わりで活動プログラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	リーダーを中心として、週替わりで活動プログラムを作成している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動と個別活動のメリット・デメリットを理解し、子どもが興味をもって参加でき、効果的に療育の内容が見につくように計画に盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて当日の活動を確認し、活動内容や準備の担当等、共通理解を持って支援が効果的に実施されるよう心がけている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	毎日行った支援について、個別支援記録を付け、職員間でいつでも子どもの状況を確認できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	上記の支援記録のほか、連絡帳にも日々の記録を取り、発達の評価と支援の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的に保護者との面談を実施し、ニーズや課題の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	子育て支援部会が発足した児発ネットに参加し情報共有をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	幼稚園後、保育園後の子どもの利用に広く対応し、送迎時などに情報共有を行うことで支援のすり合わせや課題の共有を行い、多角的に子どもを支援できる関係強化を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	必要に応じて、各学校との連携強化のための市情報共有を行えるようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	現在まで事例はないが、困難事例の際にはアドバイスを活用していきたい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		保育所や幼稚園通園後のお子さんの利用を広く受け入れているが、一緒に活動する機会はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に施設での様子や行った支援の内容、発達の状況などについて報告を行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		市の発達支援施設がペアレント・トレーニングを担っているため実施していない	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に重要事項説明書を用いて説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。完成した支援計画は保護者に確認していただき同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	保護者からの相談には内容にかかわらず随時対応を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		利用されているお子さんが同じ保育園・幼稚園が幼稚園に通われているなど、個人情報を上でクリアすべき課題が難しいため行っていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	事業所携帯を用いて随時相談に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2	会報等は発信していないが日々の送迎時やSNSを通して綿密な連絡体制を取っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報は鍵付きのキャビネットで保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	わかりやすい言葉や、視覚情報を用いて意思の疎通、情報伝達を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域住民との関係は良好に保っているが、イベント等への招待などは行っていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各種マニュアルの整備や必要な災害・防災訓練を実施し、連絡帳を通じて保護者へと周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し完備している。訓練に関しては前項目の通り。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	利用面接時、引受時等に既往や服薬の聴き取りを実施している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	該当者がおらず実施していないが完全除去対応としている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を策定し完備してある。安全計画に基づいて支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	子どもの安全に関して適宜情報共有すると共に、SNSを通じて連絡体制を構築し、連携が取れるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事例は何時でも見られるようにまとめてある	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	内部研修を実施している。外部研修についても導入検討中である。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	子どもの状況により、身体保護・精神的安定を目的として、身体拘束方法について支援計画に記載、説明を行っている。実施事例はな		